

地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会

第 28 回海域活断層評価手法等検討分科会

議事要旨（案）

1. 日 時 令和 6 年 5 月 20 日（月）13 時 30 分～16 時 35 分
2. 場 所 文部科学省 18 階 研究開発局 会議室 1
東京都千代田区霞が関 3－2－2（中央合同庁舎第 7 号館）
3. 議 題 （1）日本海側の海域活断層の長期評価について
（2）その他
4. 配付資料
（本資料）
海活 28－(1) 第 27 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨（案）
海活 28－(2) 日本海側の海域活断層の長期評価（令和 6 年 7 月速報暫定版）
（案）

（参考資料）
海活 28 参考資料 1 日本海側の海域活断層の長期評価に関する資料
海活 28 参考資料 2 日本海側における断層トレース案および断層命名案
海活 28 参考資料 3 日本海側の海域活断層の特性表案
海活 28 参考資料 4-1 近畿－北陸沖海域活断層案及び反射断面（富山湾）（岡村主査資料）
海活 28 参考資料 4-2 近畿－北陸沖海域活断層案及び反射断面（親不知沖、上越海丘）
（岡村主査資料）
海活 28 参考資料 5 これまでに審議した評価対象断層の反射断面
海活 28 参考資料 6 日本海南東部（仮称）の海域活断層の評価・公表方針
海活 28 参考資料 7 能登半島北方沖海底地形図（海上保安庁資料）
海活 28 参考資料 8 日本海南東部（仮称）の海底地形図
海活 28 参考資料 9 日本海南東部（仮称）の海底地質図
海活 28 参考資料 10 日本海南東部（仮称）のブーゲー異常
海活 28 参考資料 11 気象庁一元化震源による震央分布
海活 28 参考資料 12 気象庁一元化震源による発震機構解分布
海活 28 参考資料 13 F-net によるメカニズム解の分布
海活 28 参考資料 14 日本海南東部（仮称）における日本海地震・津波調査 PJ による
断層モデル

5. 出席者

主 査	岡村 行信	国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター活断層・火山研究部門名誉リサーチャー
委 員	芦 寿一郎	国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
	石山 達也	国立大学法人東京大学地震研究所准教授
	伊藤 弘志	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	高橋 成実	国立研究開発法人防災科学技術研究所地震津波火山ネットワーク センター上席研究員 / 国立研究開発法人海洋研究開発機構海域 地震火山部門地震津波予測研究開発センター上席技術研究員
	仲西 理子	国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震発生帯 研究センター主任研究員
	森川 信之	国立研究開発法人防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価 研究部門主任研究員
	山下 幹也	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地質 情報研究部門資源テクニクス研究グループ主任研究員
事務局	吉田 和久	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室長
	上野 寛	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官
	佐藤 壮紀	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室調査研究企 画官
	水石 圭太郎	気象庁地震火山部管理課火山対策調整係
	都筑 三千夫	国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官

6. 議事要旨

- (1) 第 27 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨(案)を承認した。
- (2) 日本海側の海域活断層(令和6年7月速報暫定版)における断層面の下端の深さについて事務局から説明があり、議論した。
- (3) 日本海側の海域活断層(令和6年7月速報暫定版)における断層の特性について事務局から説明があり、議論した。
- (4) 海域断層データベースを使用して、評価対象断層の反射断面を確認し、断層トレースや活動区間、傾斜方向、角度等について議論した。
- (5) 日本海側の海域活断層(令和6年7月速報暫定版)の評価文について、事務局から説明があり、議論した。

以上